

2025年10月吉日

協賛企業 御中

ナノ学会会長 寺西 利治（京都大学 教授）

第24回大会実行委員長 中村 教泰（山口大学 教授）

## ナノ学会第24回大会趣意書

拝啓 貴社ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

さて、2026年4月30日（木）から5月2日（土）の3日間にわたり、山口大学小串キャンパス（オーデトリウム）にて「ナノ学会第24回大会」を開催する運びとなりました。

「ナノ学会」は2002年に日本のナノサイエンスおよびナノテクノロジーの総合学会を目指して、「超微粒子とクラスター懇談会」（1997年設立）を改組・発展する形で発足致しました。本学会の使命は、基礎から応用に至るナノサイエンスおよびナノテクノロジーに関わる産学官の研究者が、従来の学会の枠を超えて分野横断的に情報・意見交換を行うことによって我が国におけるナノテクノロジー分野の学術基盤を確立し、新産業技術を創出することにあります。これまでに、歴代の会長のもと学会としての基盤確立と発展が進められ、今年度より新会長となる京都大学の寺西利治会長のリーダーシップのもと、活発な学会活動を展開しております。

ナノ学会は、「ナノ構造・物性」、「ナノ機能・応用」、「ナノバイオ・メディシン」の三部会で構成されており、シンポジウムなどの企画を通して専門的な知識の習得や情報の交換のための場を会員に提供しています。また、学会誌(Bulletin of the Nano Science and Technology)の発行を年2回行っています。若手研究者を後押しするための顕彰活動として、これまでのNanoscale Horizons AwardとYoung best poster award（若手優秀ポスター発表賞）に加え、前回の第23回大会よりACS Publications Outstanding Poster Awardを設立致しました。毎年1回開催されるナノ学会大会は、2003年に学会創立大会が神戸で開催されて以来、日本各地で毎年開催され、毎回数百名の方々にご参加いただいております。最先端のナノ科学技術の研究成果を持ち寄り、企業展示とともに、分野・産学横断的な人材交流や情報交換の機会を提供しています。この大会は、ナノ科学技術分野の最先端の講演に触発されることで、新しい発想や着想が生まれる可能性に満ちています。

第24回大会である本大会においては、維新の地、山口において「ナノ科学インタラクシオン」とのテーマのもと、上記の三部会の交流のみならず、ナノに関わる科学、ナノへと繋がる科学、ナノから広がる科学における出会い、そして人と人とのインタラクシオンによる新たな研究や学術、そしてイノベーション創出の場を目指します。

本大会開催に必要な経費は、基本的には参加者の参加登録費と協賛団体および基金団体からの資金で賄われております。経費節減のため、関係者一同あらゆる努力を重ねておりますが、開催費用の捻出に苦慮している状況にあります。このような状況を打開するため、法人の皆様のご援助をお願い申し上げます。本趣意書では、協賛、予稿集広告掲載、併設展示会（機器・書籍）募集書をつけております。末筆ながら、貴社、貴団体の益々のご発展をお祈り申し上げます。

敬具